

2割が歩きスマホをしている人とぶつかった経験あり

～自身が歩きスマホをする・しないで見られず、歩きスマホによる危険は皆の課題～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

目次

調査結果 1 : 他人の歩きスマホにぶつかった経験

調査結果 2 : 他人の歩きスマホにぶつかった経験 (詳細)

■ 調査結果

前回のレポート (No. 4) にて、自身の歩きスマホにより、半数が危険な経験をしていると紹介したが、他者の歩きスマホにより、どれくらいの方が危険な経験をしているか、今回のレポートで紹介する。

1 — 2割が他人の歩きスマホにぶつかった経験がある

図1の通り、他人の歩きスマホにぶつかった経験がある人は、全体の2割であった。

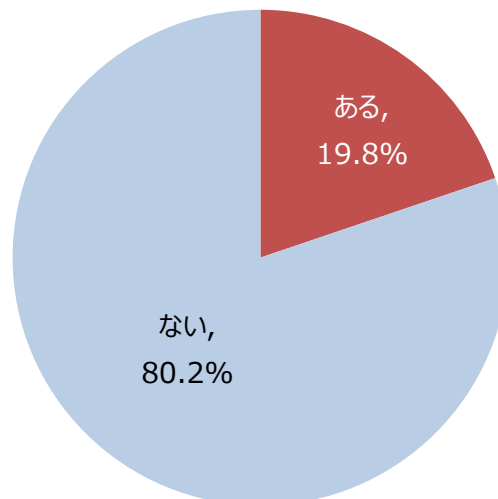


図1 他人の歩きスマホでぶつかった経験 (n=6,000)

2 — 自身が歩きスマホをする・しないによる危険の経験に差異は見られず

では、このような危険な経験をしている人は、自身が歩きスマホを行っている人が、より危険な経験をしているだろうか。図2に示す通り、自身の歩きスマホの有無による差異はほとんど見られなかった。

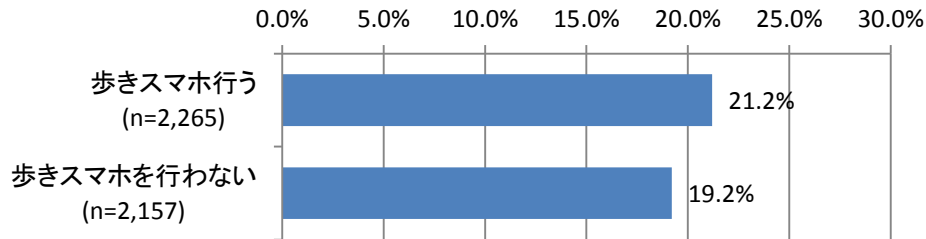


図2 他人の歩きスマホにぶつかった経験 自身の歩きスマホの有無別

3—主な移動手段が鉄道・電車の方は3割、自家用車の方でも1割強が経験有

それ以外の関係で、歩きスマホにぶつかった経験はあるのか、「主な移動手段」と「都市規模別」に考察してみる。図3で示した通り、主な移動手段が「鉄道・電車」の方は3割と高い水準ではあるが、「自家用車」の方も、1割強経験している。

図4の都市規模別に見ても、移動手段と少し相関はあるが、大都市ほど高い傾向はみられるが、地方部においても、1割を下回ることはない。

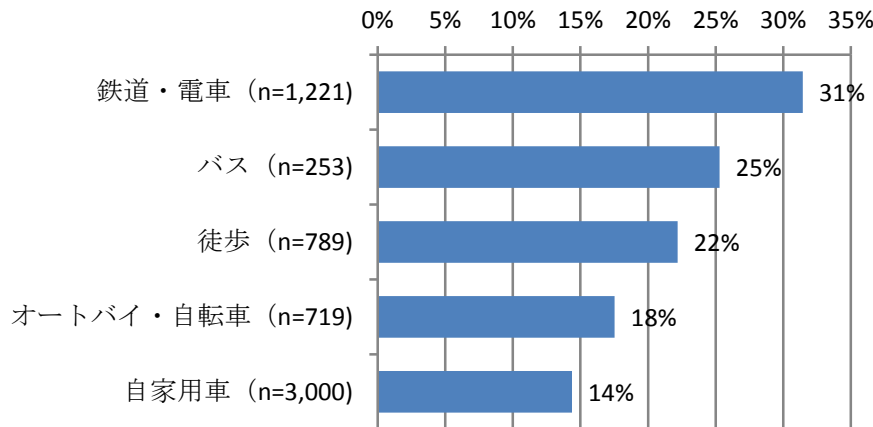


図3 他人の歩きスマホにぶつかった経験 主な移動手段別 (n=6,000)

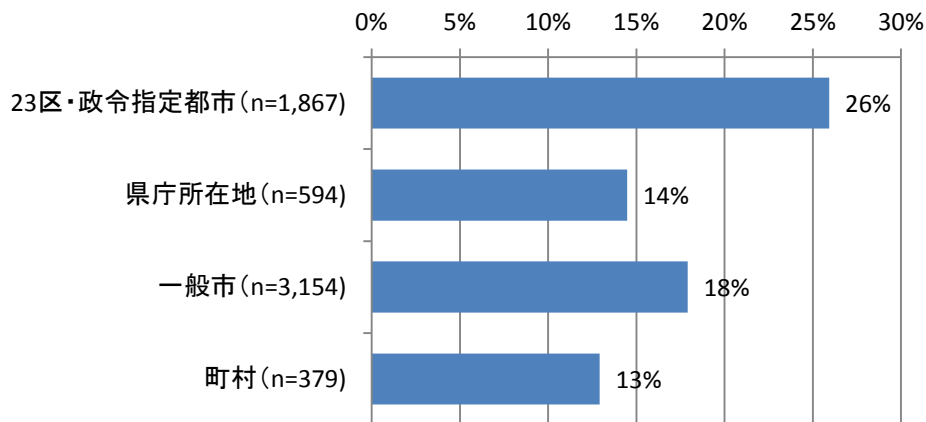


図4 他人の歩きスマホにぶつかった経験 都市規模別 (n=6,000)

今回の調査結果から見ると、他人の歩きスマホにぶつかった経験には、自身が歩きスマホをするか、しないかでは関係が見られない。また都市規模から見ても、大都市だけの問題や、電車利用者だけでもなさそうである。つまり、歩きスマホによる危険の問題は、皆に關係する課題ということではないだろうか。

【参考】

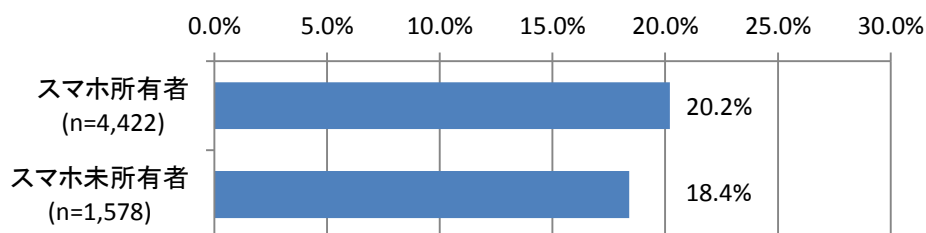


図5 他人の歩きスマホにぶつかった経験 スマホ所有別 (n=6,000)

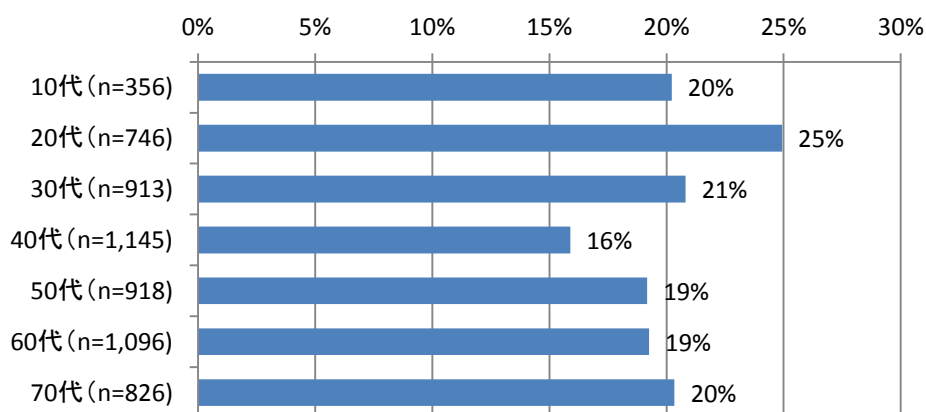


図6 他人の歩きスマホにぶつかった経験 年代別 (n=6,000)

■スマートフォンのマナーリーフレット

当調査結果を反映したリーフレットを公開しています。ご活用ください。

http://www.moba-ken.jp/safety_guide/index.html#04

■その他

当調査結果は、2018年9月6日(木)に開催された第46回日本行動計量学会にて、報告しています。http://bsj.wdc-jp.com/2018/common/doc/program_confirmed.pdf

■調査概要 (調査名 スマホのマナー・セキュリティ調査 web調査)

調査時期 : 2018年3月 調査対象 : 全国、15~79歳男女

標本抽出法 : QUOTA SAMPLING 性別・年齢・都道府県で割付6,000サンプル回収

■問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com 03-5156-1087